

施工説明書

特注雨水槽RTN-7KS(雨水槽／地上設置型)

この度はダイワ化成の雨水槽をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この施工説明書をよくご確認いただき、施工にとりかかっていますようお願い申し上げます。

目 次

施工上のご注意 2
施工の前に 4
施工手順 5
1. 外観検査 5
2. 設置場所選定 5
3. 基礎打ち 5
4. 雨水槽の据付 6
5. 雨水槽の固定 6
6. 配管接続 6
7. 送水ポンプ 7
8. 部品の取り付け 8
9. 試運転 8
10. 竣工検査 8
11. お引渡し 8

お客様に事故の無いよう、施工前にこの説明書をよくご確認の上正しく施工してください。

施工上のご注意

用語表示の説明



警告

… この表示を守らないと、火災や重症を負うことがあります。



注意

… この表示を守らないと、火災や重症を負うことがあります。



禁止

怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
… してはいけません。



遵守

… 指示通りしてください。

注 意

槽本体の据付は専用の基礎を設けてください。
水準器等で基礎の水平を確認し、
槽本体にガタツキが無いようにしてください。

この注意を怠ると、槽本体の転倒により
槽本体の破損や傷害事故が生じる恐れがあります。



槽本体を基礎コンクリートに固定する場合は
確実に固定してください。

この注意を怠ると、槽本体の転倒により
槽本体の破損や傷害事故が生じる恐れがあります。



水の溜まるような場所へのポンプの
設置は避けてください。

この注意を怠ると、感電や漏電・火災の原因となります。
また、故障の原因となります。



散水用として使用される場合は
誤って飲用しないように表示を行ってください。

この注意を怠り飲用に用いると健康を損なう恐れがあります。



水道水給水管は凍結防止の
保温材を設けてください。

この注意を怠ると、冬季に凍結破損の恐れがあります。



ブロワ、ポンプの基礎は本体のスラブに
つなげないでください。又、寝室等の近くには
設置しないでください。

この注意を怠ると、騒音が生じる場合があります。



ボールタップへの水道水給水管の接続や
既存水道配管の盛替は管工事士の資格を
有する専門業者に委託してください。

この注意を怠ると、法律に反します。



ポンプ、切替弁、フロート等の分解や
改造は行わないでください。

この注意を怠ると、感電や漏電・火災の原因となります。
また、故障の原因となります。



ドレン抜、オーバーフロー配管は
雨水配水管に接続してください。
汚水配管へは接続しないでください。

この注意を怠ると、法律に反します。



トイレ洗浄水として使用する場合、
シャワートイレ配管には接続しないでください。
(シャワートイレには水道水を使用ください)
また、シャワートイレ一体式便器には
使用しないでください。



警告・注意

<p>据付工事に際して槽本体の急激な吊り上げ、吊り下ろしは絶対に行わないでください。</p> <p>この注意を怠ると、吊り下げ金具が破損し、<u>傷害事故、家財の破損が生ずる恐れがあります。</u></p> <p align="right">⊘</p>	<p>可燃物の近くにポンプを設置しないでください。</p> <p>この注意を怠ると、引火して火災や感電の原因となります。</p> <p align="right">⊘</p>
<p>工事の際は必ず作業用手袋、安全靴を着用ください。</p> <p>この注意を怠ると、<u>傷害事故が生ずる恐れがあります。</u></p> <p align="right">⚠</p>	<p>槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。</p> <p>この注意を怠ると、槽が陥没する恐れがあり、<u>槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。</u></p> <p align="right">⚠</p>
<p>槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には絶対に立ち入らないようにしてください。</p> <p>この注意を怠ると、<u>槽本体の落下による傷害事故が生ずる恐れがあります。</u></p> <p align="right">⚠</p>	<p>ポンプの電源は屋外型の防水コンセントを用いてください。また、電源工事に関しては電気工事有資格者に委託してください。</p> <p align="right">⚠</p>

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- 設置場所は地盤強度：長期許容耐力0.5t以上保持していることを確認してください。
- 設置場所はトイレや散水栓とできるだけ最短距離で維持管理の容易な場所を選定してください。
- 屋内や床下等は避けてください。
- 建屋雨樋からの雨水排水管の配管勾配が確保できるように配置してください。
- 設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。
- ※ 軟弱地盤への設置は行わないようにしてください。**
タンクの安定が悪い場合は転倒事故の原因となりますので設置を中止してください。

●部品の確認

施工前に必ず梱包内容を確認してください

	数量	雨水槽サイズ
<input type="checkbox"/> 槽本体 (槽本体同梱部品：施工説明書、取扱説明書)	1	500ℓ／700ℓ 共通
<input type="checkbox"/> M8アンカーボルト	4	
<input type="checkbox"/> 加圧ポンプ(50Hz／60Hz)	1	
<input type="checkbox"/> スリース弁	1	
<input type="checkbox"/> チェーン	1	
<input type="checkbox"/> フロート	1	
<input type="checkbox"/> フロントパネル	1	
		700ℓのみ

●別途にご用意していただくもの

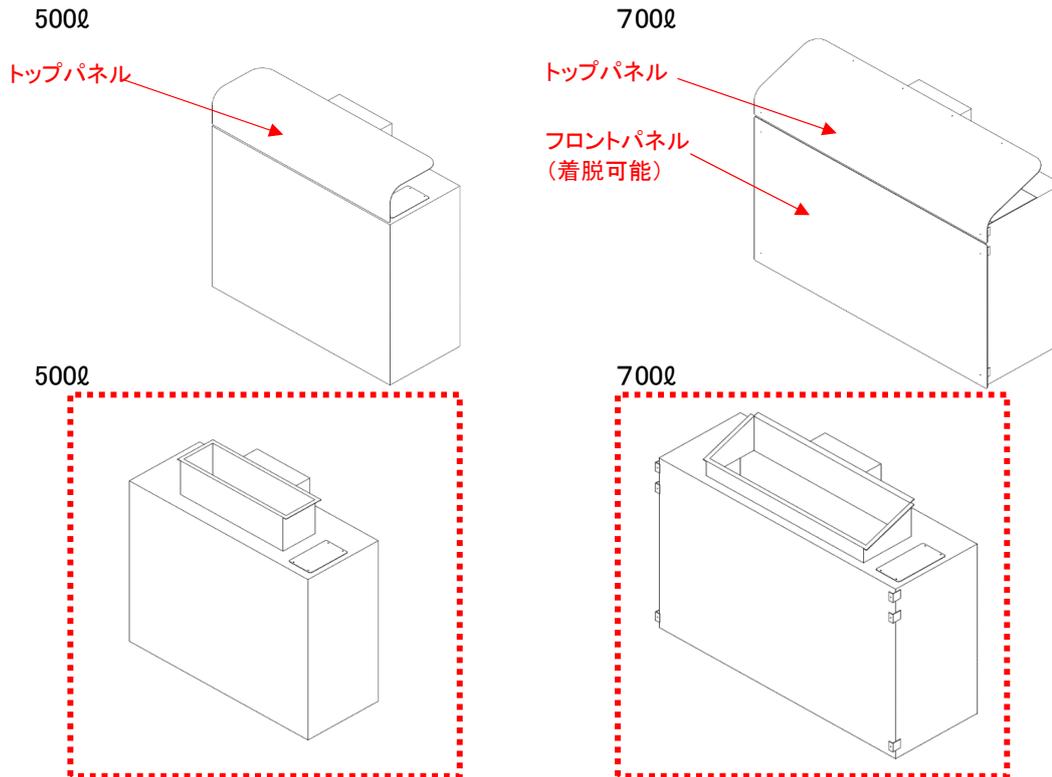
- 塩ビ配管 VP25(ポンプ配管、ドレン配管)、同継手類
- 塩ビ配管 VP50(オーバーフロー管)、同継手類
- 塩ビ配管 HIVP13(給水配管)、同継手類
- 塩ビ接着剤
- 雨樋との接続継手 ※設置場所の雨樋形状に合わせてご準備ください
- 接続ジャバラ管 ※必要に応じてご準備ください
- ホースバンド ※必要に応じてご準備ください

●必要な工具

- スコップ、ツルハシ等の掘削工具
- 測定工具(スケール、水準器、トランシットレベル等)
- 水巻き用ホースリール
- プラスドライバー
- モンキーレンチ
- カッター
- パイプカッター／鋸(塩ビ管切断用)
- 電動ドリル、コンクリート用ドリル(φ8.5mm)
- パイプカッター／鋸(塩ビ管切断用)

●パネルの取り外し

- パネル破損を防ぐため、作業前にパネルを取り外してください
- 700ℓはフロントパネルも取り外してください
- ※ パネルは重量物のため取り扱いご注意ください
- 取り外し、移動は必ず二人作業で行ってください
- 取り外したパネルは傷がつかない安全な場所に安置してください



据え付け作業は槽本体を上記の状態にして行ってください。
パネルが付いたまま据え付け作業を行うと、パネルが破損する恐れがあります。

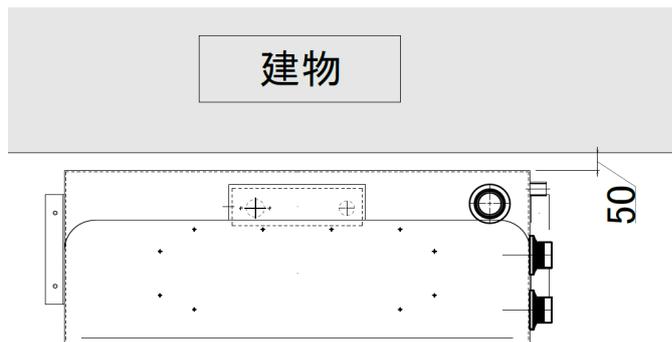
施工手順

1. 外観検査

- ・ 工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。
- ・ 工場出荷時には製品検査を十分に行っておりますが、搬送中の衝撃等で傷が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。
- ・ 製品および同梱品の数量は“●部品の確認”をご参照ください。

2. 設置場所選定

- ・ 取水する雨樋縦管を選定して、設置する場所を決定してください。
- ・ 雨水槽は壁や建物から50mm以上離して設置ください。
- ・ 雨水槽の雨水流入穴はφ60mmで塩ビ配管50Aのサイズとなっております。
- ※ これ以外の形状の場合は雨樋専用の継ぎ手が必要となりますので、施工された業者にご確認ください。
- ・ ポンプ等の設置は寝室等、騒音の気になる場所は避けてください。



※ 安全にご使用いただくため、必ず基礎コンクリート上に設置してください。

※ 下記のような場所には設置不可です。

- ・ めかるみや地盤の柔らかい場所
- ・ 地盤が平坦でない場所
- ・ 水が溜まるような場所
- ・ 芝生、落ち葉などの上(芝生、落ち葉を除去してください)
- ・ ウッドデッキ等、構造物の上
- ・ 玉砂利、敷石の敷かれている上
- ・ インターロッキングの上
- ・ 勾配の急な場所

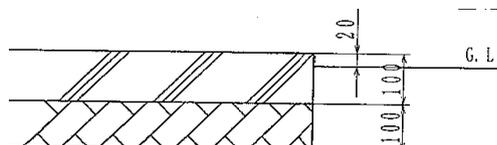
安全・快適にご使用いただくため、設置場所の選定にはご考慮ください。

Wタイプ、Aタイプはポンプの電源が必要です。(100V)

設置場所付近に電源がない場合は専門の業者に依頼して電源を設けてください。

3. 基礎打ち

- ・ 下図の要領で鉄筋コンクリート基礎を打設してください。
- ・ 打設の際には割栗石地業を行い。ランマ等で転圧してください。
- ・ コンクリートは水準器等を使用し水平に打設してください。
- ・ 打設後は十分に養生して、コンクリートの強度を確保してください。



■コンクリート基礎寸法

	500ℓ	700ℓ
L	1,800	2,200
W	600	800

確認

※ コンクリートのレベル、深さは施工計画に基づき正確に確認してください。

※ コンクリートが完全に硬化するまで養生してください(夏季:2日程度、冬季4日程度)

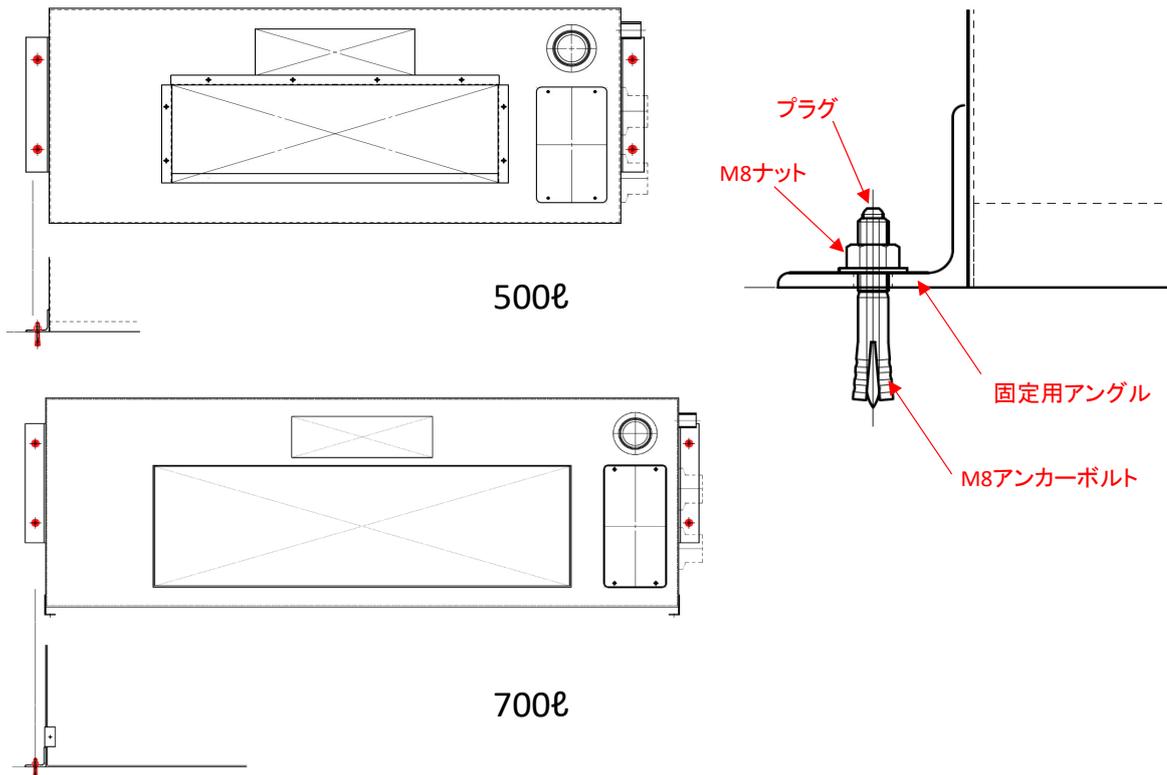
4. 雨水槽の据付

- ・ 基礎コンクリート上に雨水槽本体を据付し、設置位置を決定します。
- ※ 流入管、放流管、オーバーフロー管、ポンプ配管等の接続が可能か、十分にご確認ください。
- ・ 据付時に雨水槽本体にガタツキがないように確認してください。

※ 基礎コンクリート上に小石等の異物がないことを確認してください。
※ 槽を吊り下ろしの際、本体を引きずったり、ぶつかけたり、衝撃を与えたりしないでください。

5. 雨水槽の固定

- ・ 雨水槽本体を所定の据付位置に置き、固定用アングルの穴位置を基準上にマーキングしてください。
- ・ マーキング位置に、コンクリートドリルでアンカーボルト下穴(φ8.5×4箇所)を明けてください。
- ・ 槽本体を据付位置に置き同梱のM8アンカーボルトを雨水槽本体の固定用アングルに通します。
- ・ 同梱のアンカーボルトプラグをハンマーでしっかり打ち込んでください。
- ・ 緩みの無いようナットを締め付けてください。(4箇所)



※ 雨水槽本体にガタやグラツキのない事を確認してください。

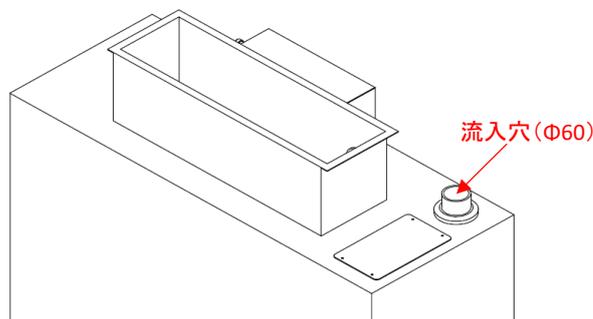
6. 配管接続

① 雨樋縦管の接続

- ・ 槽本体の流入穴(φ60)に雨樋からの縦管を接続してください。
- ・ 屈曲部を少なく、45° エルボ等でなだらかになる様に接続してください。

※ (90° の屈曲は避けてください)

※ トップパネルに干渉しないよう配管経路などご注意ください。



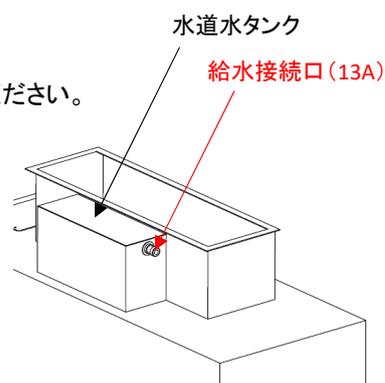
② 水道水給水管の接続

- ・ 槽本体の給水接続口(13A)に水道水配管を接続します。
- ・ 接続した配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。

※ 給水管はHIVP13を使用してください。

※ 槽本体の接続前に止水バルブを設けると非常時に便利です。

※ トップパネルに干渉しないよう配管経路などご注意ください。



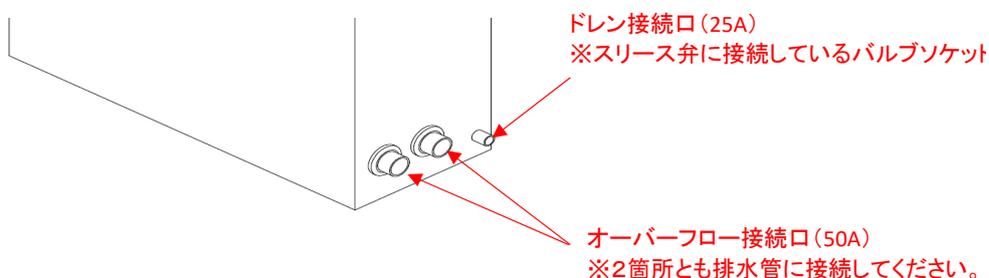
③ オーバーフローおよびドレンの接続

- ・ 槽本体のドレン接続口(25A)にドレン配管を接続します。
- ・ オーバーフロー接続口(50A*2箇所)にオーバーフロー配管を接続します。

※ オーバーフローとドレンは建物の雨水排水管に接続してください。

※ オーバーフローは2箇所とも排水管に接続してください。

※ 配管はVU50を使用してください。



7.送水ポンプ

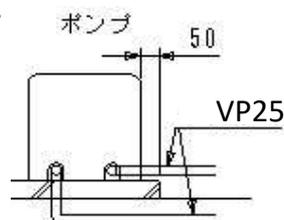
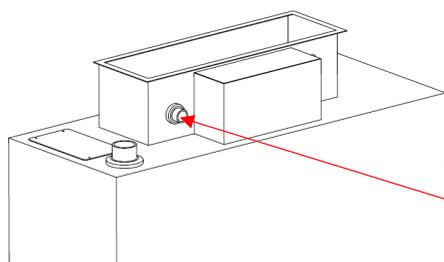
① ポンプ設置について

- ・ ポンプは通気、防湿、騒音等を考慮した場所で雨水槽より3m以内になるように設置ください。
- ・ 振動防止の為、コンクリート基礎を打ち、機器の重量や振動に耐える構造としてください。
- ・ 建物基礎や雨水槽本体の上部スラブに直接つなげないでください。
- ・ GLより100mm以上高く、機器類の外形より50mm大きくしてください。

① 配管接続

- ・ 槽本体のポンプ配管接続口(25A)にドレン配管を接続します。

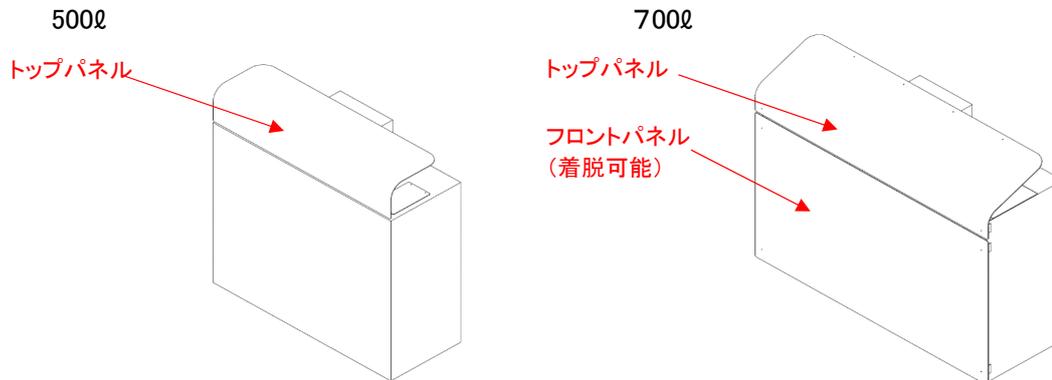
※ トップパネルに干渉しないよう配管経路などご注意ください。



- ※ 100V電源に接続ください(200V電源に接続しないでください)
- ※ プロワやポンプは運転時に熱を持つ為カバーをかぶせたり風通しの悪い場所や可燃物、危険物の近くへの設置は避けてください。
- ※ 屋根からの雨水がかからないようにしてください。
- ※ アース端子が無い場合は、アース工事(D種接地工事)を行ってください。
- ※ 電気工事にあたっては資格が必要です。
- ※ 必要に応じて有資格の専門業者さまに相談・ご依頼ください。

8. 部品の取り付け

- ・ 切替フロートとチェーン(フロート吊り下げ用)が梱包されています。
- ・ 梱包材を取り外し、そのまま、槽内に吊り下げるようにセットしてください。
- ・ 出荷時に切替フロートの鎖は調整してありますので、鎖の長さは調整不要です。
- ・ トップパネルとフロントパネル(700ℓのみ)を取り付けてください。



※ パネルの取り付け作業終了後は、取り付けビスが緩んでいないことをご確認ください。
※ 緩みがある場合、トップパネルが予期せず動き、怪我や事故に繋がる恐れがあります。

9. 試運転

- ・ 雨水槽本体に水をためてください。
- ・ 本体の漏水がないか、オーバーフローやドレンの排水に異常はないかを確認ください。
- ・ 雨水槽への給水管のバルブを開き、水道水タンクに水道水を溜めてください。
- ・ ポンプに呼水を入れてください。
- ・ ポンプの電源を入れてください。
- ・ 接続先の機器類への給水が正常に行われているかを確認してください。
- ・ 槽本体の水位低下時に水道水切替タンクから槽本体に水道水が給水されることを確認してください。
- ・ 設置完了時には下記の工事竣工チェックリストで竣工検査を行ってください。

10. 竣工検査

- ・ 工事完了後、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

	チェック内容	結果
1	槽本体の据付にガタツキはないか	無 ・ 有
2	供給先の機器類へ確実に配管されているか	無 ・ 有
3	供給先の機器類に雨水が使用されているか	無 ・ 有
4	オーバーフロー、ドレンは確実に雨水配水管に接続されているか	無 ・ 有
5	ポンプの取り付けにガタツキはないか	無 ・ 有
6	ポンプの運転音が気にならないか	無 ・ 有
7	ポンプ電源は屋外用防水コンセントになっているか	無 ・ 有

11. お引渡し

- ・ 竣工検査完了後、管理者さまに取扱説明書、保証書をお渡しください
- ・ 正しい使用方法や注意事項のご説明をお願いいたします。